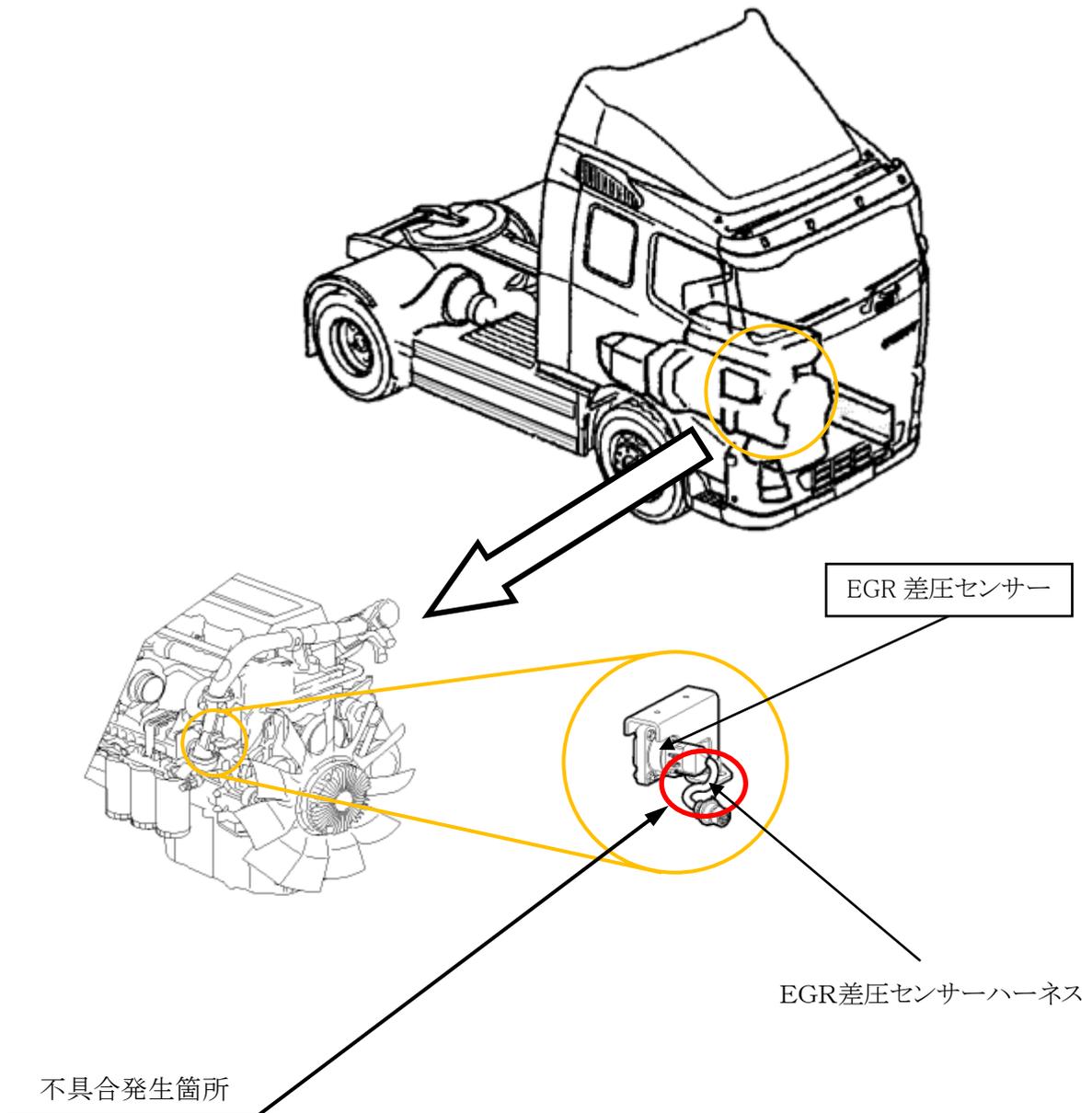


改善箇所説明図



大型トラックにおいて、エンジンのEGR差圧センサーの配線部の内部構造が不適切なため、車両振動などを受けて、保護チューブ内で配線同士が接触し、被覆が摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、被覆が剥がれ、最悪の場合、センサーの配線が断線または短絡することで、エンジン警告灯が点灯するとともにEGRが作動しなくなるため、排出ガス値が基準値を超えるおそれがある。

EGR（排気ガス再循環装置）：排気ガスを燃焼室に循環させることにより、排気ガス温度の上昇を抑え、窒素酸化物の生成を抑制するもの

改善措置の内容

全車両、EGR差圧センサーを対策品と交換する。

注： 内は交換する部品を示す。

識別：EGR差圧センサー側のコネクタ部に、白色ペイントを塗布する。